



緑の風



もう、クリスマス気分

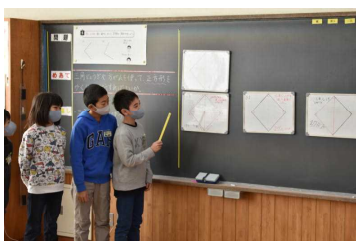
学校教育目標「夢に向かって 心豊かに たくましく生きる子ども」
～“自分で考え みんなと創る” 楽しい ふるさとの学校～

2日連続で大仙市教育アドバイザーの学校訪問

大仙市には、全ての小中学校を1年間に2回訪問して、子どもたちの勉強の様子や学校の営みについて情報交換する教育アドバイザーが2名います。どちらの方も、元校長先生であり、教育委員会勤務の経験もある方々です。

お二人とも、子どもたちが穏やかで落ち着いて仲よく学んでいる様子に、感心していました。そして、学び方の成長や表情の豊かさ・明るさをいっぱいほめていただきました。

11月25日（水）特別支援教育アドバイザー訪問 佐藤厚子先生



特別支援教育は特別な教育ではなく、どの学級にもどの子どもにとっても必要となる、適切な個別の支援を大切にしていく教育をめざすものです。
「みんなちがってみんないい」と同時に「みんなにちがう苦手があってもいいよ」という、考えのもとで、共生できる社会の土台となる楽しい学校づくりの大切さを改めて感じる事ができました。

11月26日（木）教育アドバイザー訪問 小笠原晃先生



長い間、指導主事や教育委員会の役職を経験された先生なので、多くの授業を見慣れているし、今も市内全ての学校を訪問している先生です。
どの学級も、子どもたち全員が課題意識をもって、主体的に参加していることが素晴らしいとほめていただきました。うらやましがられました。
先生方の笑顔と授業づくりも「はなまる」でした。

「しょうゆもの知り博士」の出前授業 3年生

国語の「すがたをかえる大豆」で勉強した知識を生かしながら、しょうゆの作り方や、味のちがいを実験する授業でした。

この日のゲストの先生は、日本醤油協会の田村岳大（たけひろ）さんです。今回で、本校の出前授業は3年連続になりますので、5年生や4年生も授業を受けています。

大豆を煮たり、煎ったりするなどの加工をすることや、細菌の力を使って発酵させていくことなどを、実際の変化の様子が見られる実物で確かめ合っていました。

「えーっ!」「すごおい!」と、反応のよい3年生は、すがたを変えていく大豆に魅了されていました。知識があるからこそ、深く考えられるし、いろんな角度から見る事ができていました。

3年生の頭と心も、4年生に向けて、じわじわ熟成されてきています。



食い入る瞳①



食い入る瞳②



たいようくんタイム（木曜日の1時間昼休み）

給食集会で盛り上がり

だいぶ定着してきた「たいようくんタイム」に、給食委員会のみなさんが集会をやって、全校を楽しませてくれました。

好きな給食アンケートの結果発表や、牛乳パックのリサイクル、野菜の栄養に関するクイズ等があり子どもも先生方も、楽しませてもらいました。

4年生の凜斗さん、楓さんと、5年生の蒼介さんが、赤・黄・緑の3レンジャーになって登場して、元気いっぱい笑顔いっぱいでホールのみんなを包み込んでいました。

出されたクイズを1問。答えがわかりますか？

つぎのなかで、えいようのすくない
やさいはどれでしょう。

- ① キャベツ
- ② きゅうり
- ③ だいこん

集会の中では、毎週月曜日の朝に全校分の給食用ふきんをたたんでくれている、芽衣さんと紅愛さんに「ありがとう賞」が贈られました。

2人とも、とってもいい顔で賞状をもらい、うれしさいっぱいでした。たくさんの「ありがとう」の心があふれました。

「子どもが子どもにしゃべる授業」に“全集中”

先生方が黒板の前で説明するだけの授業から、“子どもが主役の授業”へ着実にシフトチェンジができてきています。この学校報の写真にも、子どもが子どもたちに説明をするものや、自分たちで会を進行するものがあります。それから、元気に手を挙げたり、なぜだろうと、興味津々で目を輝かせたりしています。

12月10日（木）のPTAでは、そんな「たいようの 声と笑顔で“発信”！」する子どもたちの成長をご覧ください。お待ちしております。